



3月 ＊給食だより＊



学校給食展が開催されました！！

2月2日（金）・3日（土）に松井まちづくりセンターで学校給食展が開催され、2日間の来場者数は1337人と大盛況でした。各学校から習字や標語、紙粘土や折紙を使った作品など、たくさんの出品がありました。また給食で使用している道具や釜の展示では、家庭の物よりもはるかに大きい長さ120cmの「へら」と「ひしゃく」、直径90cmの「釜」に驚かれています。クイズラリーでは、子供たちがクイズの場所を探し回り、参加賞でもらえる給食展限定の缶バッジに大喜びの様子でした。全学校のご協力のおかげで、素晴らしい学校給食展を開催することができました。ありがとうございました。



三ヶ島中ではSDGsをふまえ、環境に配慮した献立を発表！和食・国産・地場産物にこだわった作品でした。



カラフルな食品群。クイズの答えを必死で探しています。あつた！😊



この大きさに100人分。へらを使って、かき混ぜます。給食センターの調理員さんが、体験の手伝いをしました。

給食を通して学んだことを ふり返りましょう

皆さんは、1年間に約195回、給食を食べます。小・中学校の9年間では約1750回にもなります。

毎日の給食は「生きた教材」といわれ、食べものの栄養や体に必要な量、栄養バランスなどを食べて学ぶことができます。

また、所沢産の食材（里芋、小松菜、人参など）を使っているの、地場産の野菜を身近に感じる機会にもなります。配膳や片付けも、すべてが学びのチャンスですね。

マナーを守って食べましたか？

食器を正しく並べられた 	茶わんや汁わんは手に持って食べた 	はしを正しく持って食べた
ひじをつかずよい姿勢で食べた 	口を閉じて食べた 	食べ終わるまで立ち歩かなかった